

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	夏ぎく10a、秋ぎく20a、電照ぎく10a、小ぎく10a、スプレーギク10a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目									親株管理	台・土	△	◎	—————
2年目													□~□

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F)×(G)×利率
作業場	木・瓦	50 m ²	3,055,500	17	509,250	509,250	15	33,950	8	237,650	100	9,506
灌水ポンプ	400ℓ/分	1 台	171,200	17	28,533	28,533	7	4,076	4	12,229	100	489
管理機	3.5ps	1 台	197,400	17	32,900	32,900	7	4,700	4	14,100	100	564
背負式動力噴霧機	20ℓ	1 台	68,780	17	11,463	11,463	7	1,638	4	4,913	100	197
動力噴霧機	可搬式 6ps	1 台	281,880	17	46,980	46,980	7	6,712	4	20,134	100	805
トラクタ	4WD 20ps	1 台	1,805,760	17	300,960	300,960	7	42,994	4	128,983	50	2,580
ロータリ	160cm	1 台	475,200	17	79,200	79,200	7	11,314	4	33,943	50	679
畦立てマルチャー	14~25ps	1 台	460,922	25	115,231	115,231	7	16,462	4	49,385	100	1,975
下葉取り機	30~50本/分	1 台	189,288	17	31,548	31,548	8	3,944	4	15,774	100	631
軽トラック	660cc、4WD	1 台	1,050,000	17	175,000	175,000	4	43,750	2	87,500	100	3,500
合計			7,816,830		1,341,215	1,341,215		171,569		608,669		21,088

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
きく	精雲など	夏 (6/下~7/上出荷) (かき苗定植)	32,000本	排水良好な水田転作畑	10a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (% / 10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
親株の管理	7~8/上	油かす	10kg	人力	○切花の終わった株の中から、無病の優良株を選び親株とする(1,200~1,500株)。 ○萌芽を促すため、株元に油かすを10kg/a 施す。		2	8.0	
台刈り・土入れ	8/上~8/下			人力 人力	○地表から3~5cmの高さで台刈りを行う。 ○土入れは萌芽の基部が土に埋まるようにいねいに行う。		2	16.0	
かき芽の仮植	9/上~9/中	苦土入りセルカ2号 鳥取花複合1号花子 50%寒冷紗	4kg 4kg 3m×30m	トラクタ ロータリ 灌水ポンプ 人力	○露地に本ば10a あたり60~80㎡の仮植床を作る。 ○発根した芽を手でかき取り、10×10cmの間隔で植え付ける。 ○十分に灌水し、寒冷紗で遮光する。	1.0 0.5	2	8.0	軽油 4.5 ガソリン 0.5
定 植 準 備	10/上	堆肥 苦土入りセルカ2号 ミネラル宝素 苦土重焼燐 花子 白黒ダブルマルチ 0.03×135	3t 100kg 100kg 60kg 300kg 700m	トラクタ ロータリ マルチャー 灌水ポンプ	○畝幅80~85cm、通路50cm ○灌水を十分にす。	6.0 1.0	2	14.0	軽油 13.5 ガソリン 2.0 ガソリン 1.0
定 植	10/下			人力	○マルチに穴を開ける。 ○条間30~35cm、株間10~15cm ○冬至芽の着生したかき苗を直接本ばに12,000本~15,000本/10a 定植する。		2	96.0	
除 草	10/下	トリアリサイド [®] 乳剤	200ml	背負動噴	○通路に除草剤を散布する。	1.0	2	1.5	ガソリン 1.0
排 水 対 策	12~3			人力	○積雪時の湿害対策のため排水溝を掘る。		1	5.0	
支柱立て・ ネット張り	3/下	フラワーネット 12cm×5目 支柱パイプ 130cm	700m 1,000本	人力	○定植時から草丈30cmまでに行う。 ○フラワーネットは草丈の7割程度の高さに適宜引き上げる。		2	24.0	
萌芽の整理と 下葉かき	4/上~4/中			人力	○草丈20cm程度の時に、茎の整理と下葉かきを行う。 ○10a 当り基本数35,000~36,000本		2	32.0	
除 草	3~6			人力	○適宜、手取除草を行う。		2	24.0	
灌 水	4~6			灌水ポンプ	○乾燥時に適宜灌水する。	2.0	1	2.0	ガソリン 2.0
摘芽・摘蕾	5/下~6/上			人力	○蕾が小豆粒大になったら、頂花を残して摘蕾する。わき芽は順次摘除する。		2	280.0	
収穫・調製	6/下~7/中	段ボール 輪ゴム クラフトテープ	320箱 16ヶ	軽トラック 下葉取り機 人力	○朝切り・水揚げを励行する。 ○採花時期を厳守する。	20.0	2	400.0	ガソリン 20.0 電気 100.0

技術体系

項目 作業名	耕種基準			作業基準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
病虫害防除	通年	ジェイエース粒剤	18kg	動力噴霧機 軽トラック	○白さび病、アブラムシ類、ダニ類、アザミウマ類が多発するので予防散布を徹底する。	49.0	1	61.0	ガソリン 49.0
		アルバリン顆粒水溶剤	155g			25.0			ガソリン 25.0
		カスケード乳剤	175ml						
		モスピラン水溶剤	150g						
		アドマイヤーフロアブル	255ml						
		ニッソラン水和剤	200g						
		DDVP乳剤	500ml						
		ハチハチ乳剤	200ml						
		ジマンダイセンフロアブル	1,900ml						
		ダコニール1000	1,260ml						
		サプロール乳剤	510ml						
		ストロビーフロアブル	275ml						
合 計								971.5	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	1,440,000	生産量①：32,000本 単価②：45円/本
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	副産物価額④	0	
	計 (A)	1,440,000	
生産原価	種 苗 費	96,000	
	肥 料 費	78,998	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	45,108	〃
	諸 材 料 費	79,270	〃
	動力光熱費	24,509	
	農 具 費	33,955	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	5,093	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	0	
	共 済 掛 金	0	
	雇 用 労 賃	93,600	
	減価償却費⑤	171,569	別表のとおり
	土地改良費	7,999	
	支払地代⑥	0	
	小計 (B)	636,100	
販売費一般	出荷資材費	78,597	
	販 売 諸 費	279,200	
	諸税負担金	5,657	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	9,412	農業新聞購読料、電話代
	支払利息⑦	1,629	借入資本利率2%
	小計 (C)	374,495	
経 営 費 (D)	1,010,596	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	1,129,960	農 従 労 働 時 間： 854.5 生産管理労働時間 14.7 1,300円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	2,140,556	主産物単位当たり 67円/1本 注) (E) = (D) + ⑧ - ④	
自己資本	流動資本利子⑨	39,347	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04
利子(F)	固定資本利子	21,088	利率4%
自 作 地 地 代 (G)		10,267	
全算入生産費 (H)		2,211,258	生産物単位当たり 69円/1本 注) (H) = (E) + (F) + (G)
所 得 (I)		429,404	時間当たり 494円 注) (I) = (A) - (D)
所 得 率 (J)		30	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100
農企業利潤 (K)		-771,258	注) (K) = ③ - (H)
家族労働報酬 (L)		358,702	時間当たり 413円 注) (L) = (I) - (F) - (G)
農業資本利潤 (M)		-700,556	注) (M) = (I) - ⑧

